

どう防ぐ?



子どもの

ネットトラブル

14

子どもたちが陥るネット被害は、友人関係によるものと、悪徳業者など第三者から受けるものに大別される。ここでは後者について述べたい。

ネット被害の種類や方法はさまざまだが、大きくは①だまして金銭を取り上げる②困らせて喜ぶ③の2種類。

①の特徴は「とにかく理由をつけて金銭を要求する」ことで、基本的に振り込め詐欺と同類。

最近の一例を挙げると「スマホの無限ループ詐欺」。これは、スマホで性的動画サイトを見ていると突然「あなたは登録

されました。お金を支払いますか?それとも電話をかけて解約しますか?」という画面が出てくるもの。キャンセルを押すと電話発信の画面になり、それをキャンセルすると支払いの画面になり永遠に消えない!という詐欺だ。

こういった金銭要求は全て不当であり、払う必要は全くないので、「無視」すればいい。

請求画面は消えないようにみえるが、実は簡単に対処できる。まずホームボタンを押す。一時的にだがポップアップ画面は消えるので、あとはそ

の画面が出ないようにす
ればいい(ブラウザの設定
p tをo f fにし、履歴

ネット被害

犯罪の対処法を親子で確認

を消す)。実際には詳しい方に聞いたり、サイバー警察に相談するのが良いと思う。

②は、ウイルスに代表



される「マルウェア(悪意のあるソフトウェア)」。メールやウェブサイトを經由で機器に侵入して誤動作を起こさせ、データを消したり、個人情報を勝手に送信したり、キー入力情報を秘密に保存し送信したりする。

PCのウイルス対策は多くの方がされていると思うが、心配なのは、近年スマホ用が多数出現していること。例えば、2011年に比べ12年は300倍のマルウェアが出現している。スマホは写

真、電話番号帳、メールなど、流失してほしくない個人情報の塊。特に新作アプリの管理の甘いアンドロイド系スマホのマルウェアは激増中だ。適切な対策アプリの導入を勧める。

残念ながら、実社会の犯罪と同様、ネット上でも、犯罪者とその対策はいたちごっこ。子どもが自分のスマホを持っている場合、こういった犯罪者からの攻撃を、自分だけで何とかしようとして深みにはまる場合が非常に多い。やはり、中学生以下はスマホを持たないことが理想だが、もし持っている場合は、こういった犯罪の対処のしかたについて親子で話しておくことが重要だ。